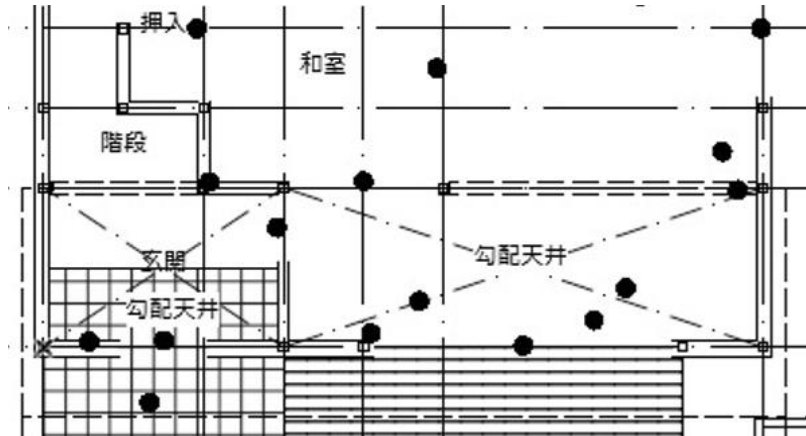


練習用ファイルは Archicad 27 で作成されています。Archicad 28、29 で練習用ファイルを開くとオブジェクトや窓等のライブラリが欠落し正しく表示されなくなるため（●の表示）、以下の手順でファイルを開いてください。

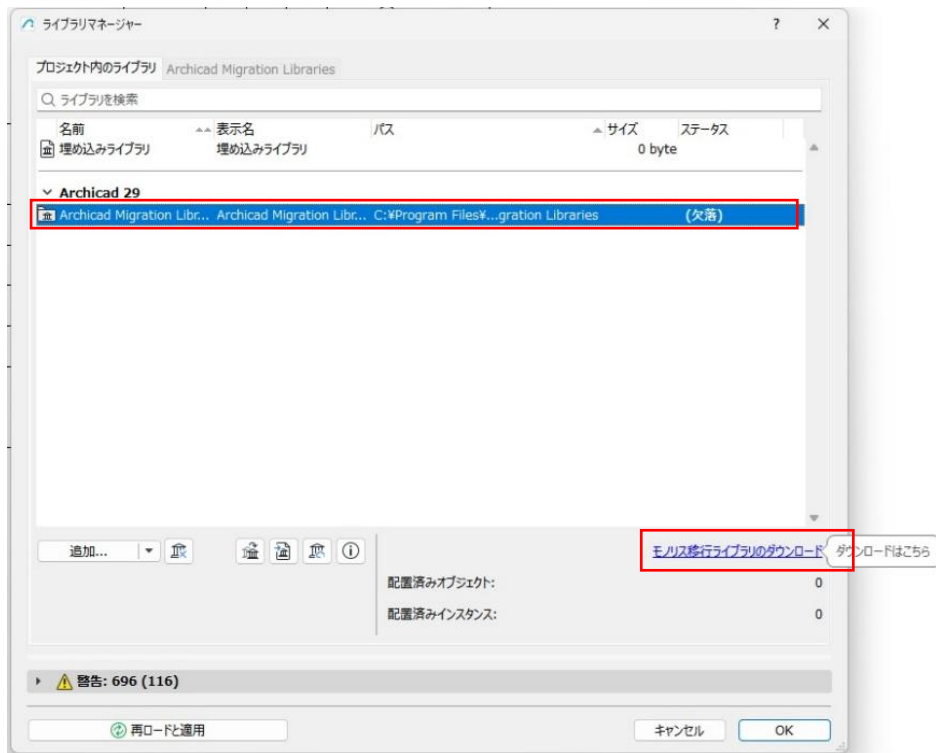


#### ・ Archicad 28 の場合

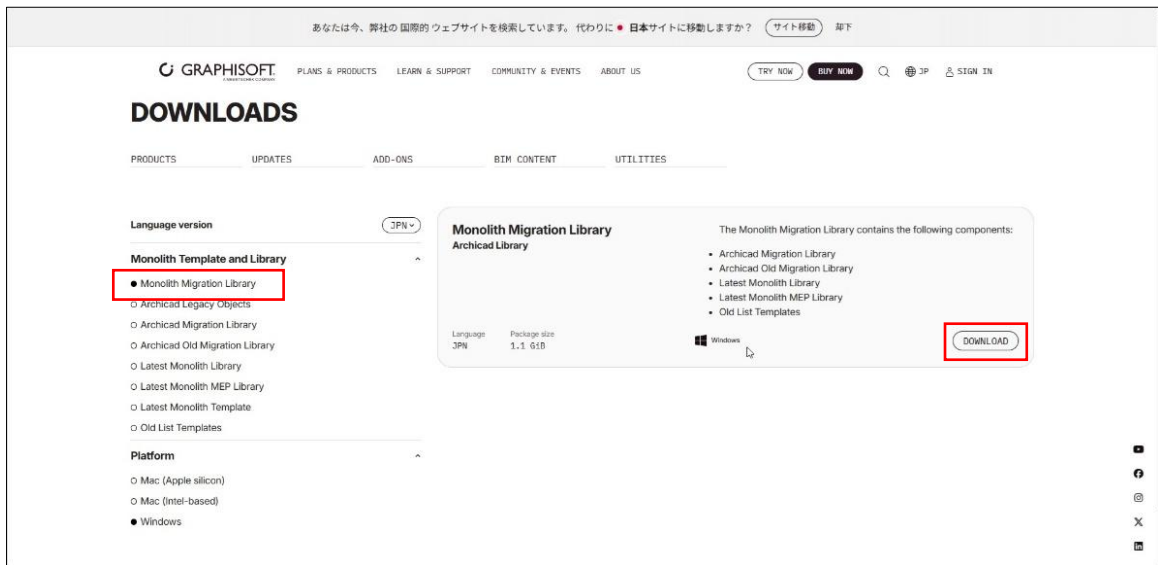
- ① 練習用ファイルを開く
- ② 「移行アシスタント」ダイアログが表示されるので 「Archicad ライブラリを移行」をクリックする（P.10 参照）

#### ・ Archicad 29 の場合

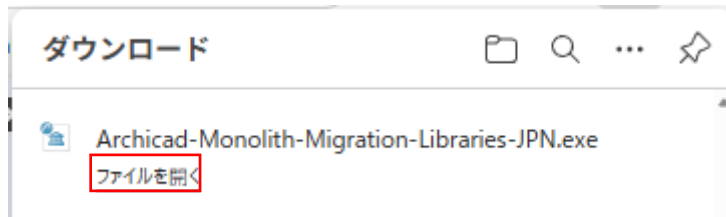
- ① 練習用ファイルを開く
- ② 「移行アシスタント」ダイアログが表示されるので 「Archicad ライブラリを移行」をクリックする（P.10 参照）
- ③ メニューの「ファイル」－「ライブラリとオブジェクト」－「ライブラリマネージャ」をクリックする
- ④ 「ライブラリマネージャ」ダイアログが表示されるので、「ArchicadMigrationLibrary（欠落）」を選択し、「モノリス移行ライブラリのダウンロード」をクリックする



- ⑤ グラフィソフト社のダウンロードページ（英語）が表示されるので、  
 [MonolithMigrationLibrary] が選択されていることを確認し、[DOWNROAD] をクリックする



- ⑥ 「Archicad-Monolith-Migration-Libraries-JPN.exe」がダウンロードされたら（約1.16GB）、[ファイルを開く] をクリックしインストールを行う



- ⑦ ウィザードが開いたら [次へ] をクリックする



- ⑧ インストールディレクトリはデフォルトのまま変更せずに [次へ] をクリックする



⑨ [インストール] をクリックする



⑩ [終了] をクリックする



⑪ 練習用ファイルを一旦閉じて、Archicad を再起動する

⑫ 再度練習用ファイルを開き、[移行アシスタント] ダイアログが表示されたら  
[Archicad ライブラリを移行] をクリックすると、正しく表示されるようになる

※③以降の手順は一度だけ行えば、移行アシスタント操作のみで正しく表示されます。

※練習用ファイルを Archicad 29 で上書き保存すると、次回以降ファイルを開く際に移行アシスタントは表示されなくなります。